

南天白通信 REOプロジェクト 広報版 第6号

11月9日（月）～12日（水）、3年生の修学旅行が行われました。南信州から山中湖をめぐる3日間の旅。3日間ともすばらしい晴天に恵まれ、全ての予定を滞りなく行うことができました。印象的だったのは山中湖で見た富士山。晴れ渡った空に、くっきりとそびえ立つ姿は、本当に感動的でした。

さて、この旅行の後、3年生が振り返りで書いたプリントの中に、多くの友達への感謝の気持ちが書かれていました。どんな言葉が綴られていたのでしょうか。

【修学旅行中に感じた、友達に対する感謝の気持ち】

- Aさん、修学旅行の行事、すべてを支えてくれて、ありがとう！
- Bさん、学級委員長の仕事の声掛けを、一緒にやってくれてありがとう！
- Cさん、リーダー会でたくさんの仕事をしてくれたり、クラスをまとめたりしてくれて、ありがとう！
- Dさん、自分がバス内点呼をわすれていたときに、教えてくれてありがとう！
- Eさん、私は班長なのにドジがだから、いろいろ支えてくれたし、ホテルを出るときに片付けを手伝ってくれて、ありがとう！

プリントを読み進めていく中、気が付いたことがありました。それは、個々の友達に対する感謝の気持ちが書かれている中、クラスのみennaに対する感謝の言葉が数多く見られるということです。

【修学旅行中に感じた、クラスのメンバーに対する感謝の気持ち】

- クラスのみenna、バスレクをつくってバスの中を明るくしてくれたり、早く集まって時間をはやめてくれたりして、ありがとう！
- クラスのみenna、楽しい修学旅行をつくってくれてありがとう！
- クラスのみenna、しゃべりかけてくれたり、遊びに誘ってくれたり、心配してくれて、ありがとう！
- クラスのみenna、修学旅行を楽しくしようと盛り上げてくれてありがとう！
- クラスのみenna、自分を支えてくれてありがとう！
- クラスのみenna、忘れたくない思い出をつくってくれてありがとう！

数が多くてすべてを書き切れなかったのですが、これらと同様の言葉がまだまだありました。すばらしいことだと思います。なぜなら、これらの言葉の中には「クラスのみennaが頑張ってくれたから、一緒にいてくれたから、自分を支えてくれたから…だから楽しい修学旅行になったんだ」という思いがあふれていると思うからです。

前回の体育大会の際のプリントでは、行事が楽しくなるポイントの一つを書きました。この3年生の言葉の中にも、もう一つの大切なポイントが示されていると思います。それはどんなことなのか、そしてそれを実現するためにはどうすればいいのか…。

1・2年の生徒の皆さんは、この先輩たちの姿から考え、実現のための努力を続けてほしいと思います。